

令和5年度 地域再生計画事業の効果検証シート（事業課評価）

地域再生計画 「豊見城市ワク・ドキこども未来プロジェクト」（まちひとしごと創生寄附活用事業）

地域再生計画における事業への位置づけ	重要業績評価指標（KPI）				事業名	事業費（円）	寄附受入金額（円）	担当課
	名称	基準値（2019年度）	実績値（2023年度）	目標値（2024年度）				
移住及び定住の促進に資する事業	年少人口の社会増減数（5年間）	69人	-206人	74人	「日本一の人財育成プログラム～未来への投資～」	4,347,200	3,800,000	こども応援課
事業概要		効果		KPI未達成の要因分析		今後の方針		
計画の目標 こども達のグローバルな人財育成を推進することにより、こども達やその保護者にとって「魅力のあるまち」「選ばれるまち」となることで、未来を担うこども達（年少人口）の増加を図り、「持続可能な豊見城市」を目指す。 計画の考え方 特色ある教育の推進（5年約30億円の大規模な育成事業）で、他市町村との差別化を図り、市外年少者（保護者）の移住を促進する。 地域再生を図るために行う事業 令和5年度は2種類の講座研修を実施。 ①とみぐすくミライアカデミー こどもの可能性（未来を生き抜く力や学びに向かう力等）を引き出すための人財育成講座。 ②プログラミング体験ワークショップ IoTブロックというツールを使って、こども達に「自由に仕組みをつくりあげてことを体験」させ、創造力や論理的思考力の向上を目的とするワークショップ。		事業目標（移住促進）にかかる効果 特色ある教育の推進（大規模な育成事業の実施）による他市町村との差別化を図ることができなかったため、計画目標である市外保護者の移住が進まなかった。 地域再生促進事業（人財育成）実施の効果 ①とみぐすくミライアカデミー 小4～中学生の20名を対象に毎週土曜日2時間24回の講座を実施 ②プログラミング体験ワークショップ 小1～3年生を対象に2時間完結型のプログラミング研修を実施（計49名） 講座完了時のアンケートでは、すべての保護者から『こどもに良い変化（行動力、意見、関心、忍耐力、PC操作、観察力、時事関心、親子の真剣な会話、周りを動かす力、自己肯定感、自己表現力など）』が確認できたと回答があった。 地域再生を促進する事業として実施した『こどものグローバル人財育成』の側面からは、「寄附額相応の事業費で効果的な人財育成」が実施できた。 KPI（年少人口の社会増減数）達成の即効性は低いと認識するが、人財育成による地域再生促進に寄与できていると考えている。		KPI未達成の理由（要因分析） 事業費 3,001,900千円（寄附額 2,971,881千円）の非常に多額な事業規模の地域再生計画事業を、標準財政規模（平成30年度決算）11,537,826千円の豊見城市が実施している。 目標の寄付額を募ることができていないため、大規模な育成事業（未就学児の講習講座・小学校単位の頻回講座・中高生の選抜養成）の実施に至っていない。そのため社会教育行政（学校外教育）の優位性は生じておらず、他市町村との差別化を戦略とする移住・定住が促進できていない。		寄附増額の方策 募ることができた寄附は、市町村としては標準的な金額の範囲であるが、目標額を確保できていない。今後は寄附マッチング契約を複数業者と行うなど、より多くの寄附金を集める方策を検討する。 地域再生を図るために行う事業 本事業内容（講座・ワークショップ）は、こどもの人財育成（こどもの可能性を引き出し、自己実現の方法を習得させる）ができるプログラムである。 得ることのできた寄附を有効に活用し、対象学齢（未就学児・高校生・過卒生）を広げ、育成数を拡大することで、本市の様々な分野の産業を担い、成果の出せる人財を育成する。 今後の方針 持続可能な豊見城市を目指すために、こどもたちの育成は欠かせないことから、地域再生を図る本事業を将来的にも継続・拡充したい。		